

# 2026年度春季研究発表大会

3月12日(木)・3月13日(金)

東洋大学 白山キャンパス

発表申込締切: 2月2日



## ■大会概要(対面形式)

日 程 3月12日(木)～3月13日(金)

会 場 東洋大学 白山キャンパス

東京都文京区白山5-28-20

<https://www.toyo.ac.jp/about/introducing/access/>

最寄駅: 白山駅 (都営地下鉄三田線)

徒歩5分／千石駅 (都営地下鉄三田線) 徒歩8分／本駒込駅 (東京メトロ南北線) 徒歩5分／千駄木駅 (東京メトロ千代田線) 徒歩15分

## ■参加費

研究発表大会	正会員		学生会員		非会員	
	早割	通常	発表者	非発表者	早割	通常
	15,000円	17,000円	無料 <sup>*1</sup>	5,000円	20,000円	25,000円

・大会参加は、下記の大会公式ウェブサイトよりお申込ください。

・法人会員は一口あたり3名まで正会員料金で参加可能です。

・**2月6日までお支払いの場合には早割り価格**で参加いただけます。支払は、クレジットカード払い(VISA, Master Card, JCB), 請求書払いのいずれかの方法となります。お支払後の返金はできませんのでご了承ください。

・当日欠席される場合でも参加費はお支払いいただきます。また出席者の交代は一切ご遠慮ください。

\*1「学生会員」かつ「発表者(第一著者)」に限ります。

## ■キーノート



「AI協働社会におけるマネジメントの再定義  
—プロジェクトとプロダクトの統合的視座」

及川 卓也氏  
Tably株式会社 代表取締役



「PM人材育成30年の振り返り」

角 正樹氏  
株式会社NTTデータ ユニバーシティ  
フェロー



「生成AI時代の教育」

坂村 健氏  
東京大学 名誉教授  
東洋大学 情報連携学術実業連携機構  
(INIAD cHUB) 機構長

■Young Crew Japan Session(予定)  
(35歳以下の学生・社会人対象の若手PM向けセッション)

PM学会のYoung Crew Japan活動として、若手PM向けの講演及び参加者同士の交流の場となるセッションを予定しています。  
(詳細は後日公開予定)

大会公式ウェブサイト <https://www.spm.or.jp/committee/2026spring/>

一般社団法人プロジェクトマネジメント学会 行事委員会 (問合せ先) e-mail spm\_conf@spm.or.jp

# 2026年度春季研究発表大会 キーノート概要と論文募集要項

## ■キーノート1 3月12日 10:00-11:00

※時間は変更になることがあります

### 「AI協働社会におけるマネジメントの再定義 — プロジェクトとプロダクトの統合的視座」 及川 卓也氏 Tably株式会社 代表取締役

生成AIの普及により、組織活動におけるプロジェクトとプロダクトの境界が曖昧になり、マネジメントの在り方そのものが変わりつつあります。本講演では、プロジェクトマネジメントが担ってきた計画と制御、そしてプロダクトマネジメントが追求してきた顧客価値と事業価値の創出を統合的に捉え、AI協働社会における新たなマネジメント理論の方向性を探ります。また、人間の意志・創造・倫理が果たす役割を再定義し、持続的な価値創造を実現するための協働モデルを提示します。



## ■キーノート2 3月13日 10:00-11:00

### 「PM人材育成30年の振り返り」 角 正樹氏 株式会社NTTデータ ユニバーシティ フェロー

PM人材の育成を長く手掛けてきましたが、今まで30年間続いている研修があります。人材開発部(NTTデータユニバーシティの前身)から「プロジェクト管理の実務を紹介して欲しい」と依頼され、その前週まで手掛けていた問題プロジェクト支援の事例を紹介したのが始まりです。その後も私自身が手掛けた事例の追加と改訂を重ね、現在に至っています。受講者が所属するプロジェクトは開発対象も開発形態もさまざまであり、プロジェクトにおける立場や役割も異なります。そこで、事例の「作法」を教えるのではなく、「あなたがこの事例のPMだったらどうするか、それはなぜか」と問いかけ、疑似体験させることで「思考」を指導してきました。本講演では研修が今まで続いた理由と思われる「気づきと思考を促す仕掛けと工夫」と、その効果を紹介いたします。



## ■キーノート3 3月13日 13:20-14:20

### 「生成AI時代の教育」 坂村 健氏 東京大学 名誉教授 東洋大学 情報連携学術実業連携機構(INIAD cHUB) 機構長

「生成AI」の目覚ましい進化により、我々の社会や生活、そして教育についても大きな変革の時代を迎えています。「生成AI」の最新技術動向を概観し、「生成AI」時代という新たな局面をどのように捉え、これからの教育がどうあるべきか、INIAD(東洋大学情報連携学部)での実際の取り組みなどをご紹介し、未来を担う人材をどのように育成していくかについてお話しします。



## ■論文募集要項

発表者(第一著者)は正会員または学生会員であることが必要です。詳細は、大会公式ウェブサイトをご確認ください。

入会申し込み	<a href="https://spm.or.jp/admission/guide/">https://spm.or.jp/admission/guide/</a>
大会公式ウェブサイト	<a href="https://www.spm.or.jp/committee/2026spring/">https://www.spm.or.jp/committee/2026spring/</a>
応募方法	<b>大会ウェブサイトからお申し込みください(2026年2月2日まで)</b>

- ・学生が第一著者の場合(共著者は2名まで)、学生発表賞に応募するか否かを選択してください。  
学生発表賞応募者は、ネットワーキング内で行われる表彰式(3月12日)に参加する必要があります。

## ■論文提出

論文投稿システムによる提出。フルペーパ 2月13日締め切り(以降は編集不可)